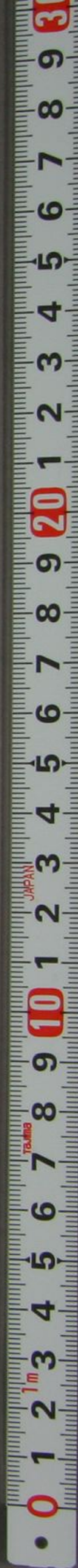


官民費用ヲ分譲シテ警察ヲ改設スル
辨

1551



114
A 323



官民費用ヲ分譲シテ警察ノ政改メル
 國無形ノ人也ハ各其業現長スレ
 所以以他ニ對メテ得テ抑今日我邦
 以テ開明新邦ニ對以スレハ其事物ノ大小
 同ハ不変シテ果レニ及テ候ハ不並シ亦己
 得ザル所ナリト飛石豈ニ痛嘆マデルヲ
 窃ナク考フルニ我邦ハ東洋中絶海ノ一島ニ
 シテ他國ト其境接シ強ク不履テ人民自在
 相往々不偶相往々不履テ人民自在
 抗ス且歐人ハ其種質ヲ異ニシ支那人ハ其
 容貌ヲ異ニシ其言語モ亦相同シカク不一見
 以テ我邦ノ甄別スレテ得然ラシ我國ノ警察

大正十一年四月

ハ只之ヲ四國人民ニ施スノニ是ニ旅券法ヲ
施行シ改テ傳變風ノ兩弊害ヲ防止スレ
時、風俗忽テ改良シ奉用ノ人民各其道ニ由
リ進メテ止ム不於ニ能ク此國ノ文明ヲシテ
各國ノ上流ノ占領スルニ蓋シ亦難事ニ非ナ
レニ是レ予ガ常ニ信シテ疑ハザレ所且曾
テ論シ曰本邦ハ元來警察施行極メテ易ク月
也

第二 己レノ損害ハ自己ノ不注意ニ出シ一
ノ損害ハ天啓ノ不注意ニ生シ一縣ノ損害ハ
縣ノ不注意起ル全用ノ損害ハ政府ノ不注意
意也凡各其責ニ任シ己レテ保護セザルヲ
得ザレ者、誠ニ天地自然ノ理ナリ

而シテ其一縣一村一人ノ及ハザレ所ノ助
ケラ之ヲ保護スルニ素ヨリ政府ノ責任ナリ
ト雖モ元ノ政府ニシテ権勢ヲ貪リ縣村民ニ
任スレ所ノ保護ノ事奉テ之ヲ政府ノ一
掌握ニ入レント欲スレ府ハ人民ノ政府ヲ見
レ合ミ路ハニ於ケル如ク國家ノ為ニス
所ノ義務又忘レ敢テ依威ヲ共ニスル者ナリ
ニ至ラン

第三 印一村ハ政治ノ名レ所トシテ第一ニ一
村ヲ心クシ以テ村落ニ不慈不存惡漢ノ改メ
レ子賊難ニ逢フ者アレバ其一村ノ不注意
リト保護ノ責任ヲ人民ニ負荷セシムル所
各其權利義務ヲ領會シ陵ノ其費用ノ口ナ

收養見

皆親カク之ヲ辨シ以テ各邑各町警察ヲ設置
スルニ至ラシク則チ現今警察費賦課ノ苦
政府ノ慾望ニシテ亦ソ自然消滅スベシ
時一村各村落ノ通路等ニ番人ヲ置キ以テ其村落
ノ保護ヲ為セシメ蓋シ警察ヲ設置スルノ源
也

第

曰 且世人喋々民権ヲ主張スルモ曾テ一人
ノ憤起スル者ナキハ各人各村獨出ノ権ナキ
ヲ以テ也

夫レ人ハ自由ノ権ノ有レテ死シ得ルニテサ
レバ其義氣ノ發生スルヲ導ク而シテ獨出ノ
権アル者ハ人ト交際シテ必ス化ト其肩ヲ先
ブルノ義氣ヲ生ズベシ是祖義ノ本源也善シ

父ノ子ヲ視テ何時遠キ小兒ノ如クニ之ヲ支
配シ其子ノ交際セテ父自ラ之ニ代ルガ如キニ
至ツテハ終身其子ノ獨出ヲ見ル義ハザルニ
シ

第

五 國ト邑トハ大小ノ別アルモ等シク是レ
無形ノ人ト其理猶父ノ子ニ於テ如シ故ニ
廣クニ民費ノ各村ニ課シ村政ヲ其人ニ與
十分是ニ任レ而シテ政府ハ專ラ之ニ其成
ノ責ナル時ハ各村各邑相對シテ止メ得ナ
レベキノ義ヲ知り假令ニ其村力ナキニ至
強合テ生シ其村吏モ亦幾分故村邑ノ為ニ
自ラ奮ツテ其費ヲ擲テ他村ニ負テ不勞ラズ
一村ヲ保護スレ義氣ヲ生ズベシ此理ヲ全ク

二 廣シテ 振考スル 時ハ 其利益ヲ 可シ
 万回而已
 第六 然レニ 今百万ノ 民費ヲ 散放シテ 警察ヲ
 設置スルニ 遠郷僻地ニ 至ツテハ 警察吏ノ 影
 猶之ヲ 見不且 其施行ヲ 行政警察ハ 只名ノ
 故ニ 僅ニ 司法警察ヲ 行フニ
 第七 故ニ 自今 而後 養西ノ 例ニ 倣キ 用縣邑ノ
 三別ニ 警察ノ 事務ニ 亦此區別ニ 依リ 官費民
 費ヲ 區別シ 民費ハ 專ラ 各邑村ノ 警察費ニ 充
 ツバシ 是今日ノ 急務ナリ
 第八 前ス 曰昔時代ト 今曰 以較セバ 曰暮
 時代ニ 一日ノ 如キ 警察ナクシテ 人民何程ノ
 妨害アリシヤト 云フニ 左ニ 示スル 如キ 妨害ナキヲ

警察スニ 又 維新ノ 今日ニ 至ラ 民費ヲ 賦課シ
 テ 何程 保護ヲ ナセシヤト 謂ハ、 其効亦 予
 シトシ 是ニ 足ラザレ也
 第九 今ノ 警察ハ 古ノ 警察ニ 比テ 今ノ 人ハ
 古ノ 人ニ 比テ 此府ニ 在リ 民費ヲ 是レ 民費
 ヲ 散ク 官費ノ 警部ニ 査テ 以テ 断ハズ 之ヲ 行
 費ス 時ハ 其方法 簡易ニ シテ 人民モ 亦却テ
 大ニ 幸福ヲ 得
 第十 身亦 吟ク 也 己レノ 保護ハ 自ラ 保護ス
 レニ 如キ 故ニ 之ヲ 外國ニ 望ムヨリハ 自國
 ノカク 以ラヌレニ 如キ 國ニ 望ムヨリハ 縣
 ニ 類フニ 如キ 縣ニ 類フヨリハ 邑ニ 求ムル
 ニ 如カバ 邑ニ 求ムルヨリハ 自家ニ 在リ

ニ如クズ然リ而シテ其之ヲ為スノ法也
シ唯注意怠ラズ先徒クシテ其先打テ先
事ク得テラシムルニアリ其急クシザレテ要
スルニハ村落ニ置キ付ケタル警察ナキヲ得
不是今日警察法ノ一大欠典ニシテ則チ邑警
察改政ノ要點也

第十一 邑警察ノ益ハ常ニ其風土民情ニ諸熟
シ村内ニ事故アレバ直ニ誰其ノ家ニ可マノ
事故アリ誰其ノ所為ナラント察スルノ神
速ナルニアリ若シ此設ケナク只官選ノ警部
以テ査シミテ以テスル時ハ幾ヒ幾ヒ幾百萬ノ民費
ヲ要スルニ決シテ其効ナキヲ信ズ
第十二 然ルニ今ヤ吾國ニ於テハ豫防権ト

此資カトテ各邑ニ奪ヒ給テ官選ノ警
部以テ査シ配置スルノミ誰カ亦其風土民情ヲ
極盡シテ首アテテ改ニ曰民費ハ其本ニ還シ
一村ノ保衛ハ其村落ニ委任スルノ務レルニ
如クハ

第十三 凡シ五人ニ此権ヲ委スルモ亦保衛
ノ事アリ何トナレバ村内ハ一家ノ如シ親
類アリ縁者アリ朝暮出入相親ムテ以テ或ハ
職勞山其回首ノ性質タル方心ヲ保テ難キ
ノラシ是毎郡ニ官設ノ警察所ヲ置キ以テ村
警ヲ勸誘督促ヲ要スル所以也
第十四 古ニ論述スル所ニ依リ思考マシ今日
以テ各縣ニ邑警察ノ再成ヲ要スルノ理甘心

ニ平ニ過テシテ而レテ其時或着手ノ順序
知ラズニアルカラス
第十五 凡ソ各縣道至警察本部及ニ邑警人ヲ
設置セシメテ故ニ且先ツ今日ノ民費ヲ以テ
半年乃至一年間官送ノ邑警人ヲ設置シテ即
村ニ試行シ一郡一村ノ民警預備ハルテ
然ル後邑警察ノ権ヲ奪ケテ各人民ニ委スル
ヲ要ス然レテ相當ノ人物アル各邑村ハ此限ニ
アラズ

前年警察権ノ東京府廳ニアリシ時警察
ノ為ニ區長ヲ置キ其下ニ戸長ヲ屬シタリ
蓋シ其以テ迄ハ士族暴威ヲ振リ戸長ハ市人
ナルヲ以テ往々其輕蔑ノ受ケテ長事務ハ

為ニ入ニテ苦ノリ然ルニ警察局長ハ
各藩士族ハシテ其威力運カニ東京士族
ノ上ニ出ルニ依リ之ヲ自由ニ與ハシ諸用
ヲ達シタリ其後警察ハ府廳ヲ請レシ
其戸長ハ今ニ至リテ士族ノ輕蔑ヲ免カレ
タルハ蓋シ職トシテ警察區長ノ餘威ニ
存ルニ是之レニ由ル

警察見

